



SOMPO
ホールディングス

保険の先へ、挑む。

CSRブックレット 2017



いっしょなら、
もっといい未来
A Better Future Together



急速な高齢化や大規模災害
貧困や人権問題など・・・

何がおこるかわからない
そんな時代だからこそ

あなたの幸せな人生を
ひとつなぎで支える SOMPO へ
そして、あなたとともに
よりよい未来を創りたい

いっしょなら、 もっといい未来 *A Better Future Together*

contents

5つの重点課題とSDGs	▶ 3	“もしも”のために、“いつも”いっしょに	▶ 17
いっしょに、子ども達の健やかな成長を願う	▶ 5	あなたの「健康」を支える、いっしょに	▶ 19
いっしょに、支え合う心を育てる	▶ 7	世界に誇れる豊かな長寿国を、いっしょに	▶ 21
いっしょに、未来を創る、人を育てる	▶ 9	文化・芸術を通した「真の感動」と 「心の豊かさ」を、人へ、社会へ、いっしょに	▶ 23
いっしょに、Diversity for Growthへ向けて	▶ 11	いっしょなら、もっといい未来／編集方針	▶ 25
いっしょに、地域、人を想う、心を育てる	▶ 13		
いっしょに、デジタルで見出す、新たな可能性を	▶ 15		

当社グループは、「安心・安全・健康」というテーマのもと、保険にとどまらない幅広い事業展開やデジタル技術の活用により、お客さまの幸せな人生をひとつなぎで支えるグループを目指しています。

国内損保事業

代理店販売主体の損保ジャパン日本興亜、ダイレクト販売のセゾン自動車火災、媒介代理店を通じた通信販売のそんぽ24が多様化するお客さまニーズに対応。また損保ジャパン日本興亜DC証券が確定拠出年金事業、SOMPO リスクアマネジメントがリスクマネジメントおよびヘルスケアサービス事業を展開。

国内生保事業

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命が、主に損保代理店を通じた医療保険・収入保障保険など収益性の高い保障商品商品の販売および「健康」を軸にした新たなサービスの提供に注力。

介護・ヘルスケア事業

SOMPO ケアメッセージ、SOMPO ケアネクスト、関連会社のシダーが施設介護、在宅介護および通所介護サービスを展開。

海外保険事業

32か国・地域、228都市に展開。SOMPO インターナショナルによる企業分野のプラットフォーム構築およびブラジル・トルコ・東南アジア地域を中心にリテール分野における市場平均を上回る成長に注力。



会社概要

会社名：SOMPOホールディングス株式会社
 (英文表記：Sompo Holdings, Inc.)
 本店所在地：〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
 TEL：03-3349-3000 (代表)
 設立：2010年4月1日
 資本金：1,000億円

グループCEO 代表取締役社長 社長執行役員：櫻田 謙悟
 事業内容：損害保険会社、生命保険会社その他の保険業法の規定により子会社等とした会社の経営管理およびこれに附帯する業務
 上場証券取引所：東京証券取引所 (市場第一部)
 URL：<http://www.sompo-hd.com/>

※2017年3月31日現在

5つの重点課題とSDGs

2015年9月、国連サミットにおいて2030年までの「持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals)」が採択されました。

当社グループは、これらの国際動向などを踏まえ、経営理念である「安心・安全・健康」に資する最高品質のサービスを提供し、社会に貢献するため、5つの重点課題を特定し、取り組んでいます。



重点課題 1

防災・減災への取り組み

いっしょなら、

重点課題 5

ダイバーシティの推進・啓発

重点課題 4

よりよいコミュニティ・社会づくり



当社はSDGsを支援しています。当社のSDGs達成に向けた取り組みは、SDGsへの貢献にコミットする日本国内の企業として、外務省のHPにも掲載されています。



重点課題 2

健康・福祉への
貢献



もっといい未来



重点課題 3

地球環境問題への
対応



本冊子では、当社グループが、お客さまに展開している取組みの一部を、ライフステージに合わせてご紹介しています。

いっしょに、子ども達の



重点課題 1

交通安全を願って53年 黄色いワッペン贈呈事業

損保ジャパン日本興亜は、みずほフィナンシャルグループ、明治安田生命保険、第一生命保険の3社とともに、全国の新小学一年生に、「黄色いワッペン」を贈呈しています。この事業は、お子さまを交通事故で亡くされた母親の訴えが紹介された新聞記事がきっかけで、1965年からスタートしました。



ワッペンを贈呈する
損保ジャパン日本興亜社長西澤



交通安全教室の様子

累計贈呈
枚数
約**6,443**
万枚
(第53回目まで)



第53回「黄色いワッペン」贈呈式：「黄色いワッペン」をつけた新小学一年生



損保ジャパン日本興亜の
交通事故傷害保険付き



重点課題 2

「育とうとする力」をはぐくむ認可保育園 「損保ジャパン日本興亜 スマイルキッズ江戸川橋保育園」

2011年設立の(一財)損保ジャパン日本興亜スマイルキッズは、東京都文京区の認可保育園「損保ジャパン日本興亜スマイルキッズ江戸川橋保育園」を運営しています。子どもが生まれたときから持っている「育とうとする力」の宝物を愛情を持って支援することで、保護者の皆さまの子育てを応援するとともに、地域の皆さまにも喜ばれる保育園を目指しています。



健やかな成長を願う

Topics

お客さまとともに未来をつくるプロジェクト

地域貢献プロジェクト

損保ジャパン日本興亜は、自動車保険などのご契約時、お客さまに「Web証券」や「Web約款」をご選択いただいたり、自動車事故の修理時に、リサイクル部品などをご活用いただくことをお願いしています。これにより削減できたコストの一部を原資に、国内外の自然環境を守るとともに次世代育成を意識しながら持続可能な社会の実現に取組む「地域貢献プロジェクト」を実施しています。

「母子保健プロジェクト」in ミャンマー

子ども支援専門の国際組織である（公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働で、近隣の東南アジアの国々と比較して5歳未満児の死亡率や妊産婦の死亡率が高いミャンマーの農村地域において、母子が安心・健康に暮らせる社会の実現に向け、母子保健の改善プログラムの支援をしています。



©Save the Children Myanmar



「交通安全プロジェクト」in インドネシア

（公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働で、子ども達の交通事故を防止するため、インドネシアのバンドン市において、小・中学生、保護者、教職員を対象に、交通安全教育や学校周辺の交通安全設備の整備などを行っています。

©Save the Children in Indonesia



重点課題 1

ベトナムの交通安全を願って ドラえもん交通安全キャンペーン

交通事故が深刻な社会問題となっているベトナムにおいて、日本でも50年に渡り交通安全の取組みとして定着している「交通安全スローガン募集」を中心とした「ドラえもん交通安全キャンペーン」に参画しています。



ドラえもんの教本で交通ルールを学ぶ子どもたち



いっしょに、支え



重点課題 3

生物多様性保全活動

SAVE JAPAN プロジェクト

損保ジャパン日本興亜は、地域の環境団体やNPO支援センター、日本NPOセンターと協働し、毎年全国各地で市民参加型の生物多様性保全活動を行う「SAVE JAPAN プロジェクト」を展開しています。



紹介動画はこちら！



イベント開催
約**650**回
(2016年度末)

参加人数
32,000人以上
(2016年度末)



地域貢献プロジェクト



重点課題 1

大切な人を想うと、防災を学びたくなる

防災ジャパングプロジェクト

損保ジャパン日本興亜は、将来を担う子どもたちとその保護者を対象に、災害から身を守るための知識や安全な行動を学んでもらうことを目的として、「防災人形劇」および「体験型防災ワークショップ」を実施しています。

全国延べ
73回
開催
(2016年度末)

参加人数
9,000人以上
(2016年度末)

地域貢献プロジェクト

紹介動画はこちら！



合う心を育てる



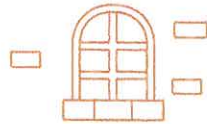
重点課題 2

障がい者がアートで夢を叶える世界をつくる 「パラリンアートのコンテスト」に参画

損保ジャパン日本興亜は、トップスポンサーとして、(一社)障がい者自立推進機構が主催する「パラリンアートのコンテスト」に参画しています。パラリンアート(障がい者が作成する美術作品)が国内外に広く周知されることを目的としており、2016年度は、全1,862の応募作品のうち、71作品が入賞しました。

参画企業として設けた「SOMPO パラリンアート47都道府県賞」の贈呈式を全国各地で実施するとともに、受賞作品の展示会を新宿本社ビルで開催しました。

その47都道府県賞と特別賞の「キャプテン翼」を受賞した大塚エティエン君と『キャプテン翼』作者高橋陽一氏の夢のコラボ作品も誕生しました。



受賞者 大塚エティエン君(手前左から2番目)

エティエン君が通う学校の先生からいただいたお手紙

47都道府県賞の贈呈式は、校内で実施していただいたため、他の保護者の方々に大きな希望を与えてくれました。

贈呈式での児童の笑顔、保護者の方からの感謝の言葉が、私自身の今後の指導への大きな励みにもなりました。

心より感謝申し上げます。

(指導教諭 西野悦子さまより)



©高橋陽一/集英社 ©パラリンアート



紹介動画はこちら!



いっしょに、未来を



重点課題 3

木を植える人を育てたい

「CSO ラーニング制度」

(公財) 損保ジャパン日本興亜環境財団では、大学生・大学院生を対象に、環境分野のCSO (Civil Society Organization: 市民社会組織、NPO/NGOを包含する概念) で8か月間のインターンシップを経験できる「CSO ラーニング制度」を実施しています。本制度は2000年に始まり、環境CSOとともに、社会の持続可能な発展のための人づくりを目指しています。

2017年
4月まで

955人
卒業



重点課題 3

学生そして社会人の学びの場

市民のための環境公開講座

参加方法など
詳細は環境財団
のHPへ!



参加人数
延べ

18,948人
(2016年末)



損保ジャパン日本興亜、(公財) 損保ジャパン

日本興亜環境財団および(公社) 日本環境教育フォーラムの3者共催で、NPO/NGOと企業のパートナーシップ協働事業の先駆けとして、1993年から一般市民向けに環境に関する講座を開講しています。



重点課題 2

介護福祉士を目指す学生を支えて25年

「介護福祉士養成のための奨学金制度」

(公財) 損保ジャパン日本興亜福祉財団は、社会福祉の分野で人材不足となっている介護福祉士を目指す学生を支援することを目的に、1992年から、返済義務のない奨学金を支給する制度を続けています。2016年までの25年間で258人を支援しました。



創る、人を育てる



重点課題 3

東南アジアの農業の発展を願って 天候不順に伴う被害を軽減する保険の提供

当社グループは、気候変動の影響を受けやすい農業が主な産業である東南アジアで、天候不順に伴う農業経営リスクの軽減を目的とした保険商品を展開しています。

2010年からタイ東北部の稲作農家を対象に、干ばつ被害に伴う収入減少を補償する『天候インデックス保険』を提供しています。

また、ミャンマーにおける日本初の『地球観測衛星データを活用した天候インデックス保険』を開発し、第2回宇宙開発利用大賞で、「内閣府特命担当大臣(宇宙政策)賞」を受賞しました。

日本初



商品開発に向けた地域の皆さまとの対話



重点課題 3

環境保全に貢献する投資信託

エコファンド『損保ジャパン・グリーン・オープン』

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントは、環境問題に積極的に取り組む企業に投資を行う投資信託(エコファンド)である『損保ジャパン・グリーン・オープン(愛称:ぶなの森)』の運用を1999年に開始しました。投資家の資金が間接的に環境保全に貢献することが期待されます。

2017年
4月末時点
純資産残高
約**232**
億円

国内の
SRI公募投信で
最大級
の投資信託

奨学金総額
1.8億円
(2016年末)



いっしょに、Diversity



重点課題 5

女性活躍推進

当社グループは、「女性経営塾」など、さまざまな女性専用育成プログラムを実施しています。また、直属の上司以外の者がアドバイザーとしてサポートする「メンター制度」を導入し、キャリアアップを支援する風土と環境を構築しています。



女性が輝く
先進企業
2016

平成28年度内閣府「女性が輝く先進企業表彰」で「内閣総理大臣表彰」を受賞（損保ジャパン日本興亜）



重点課題 5

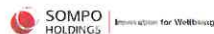
LGBT 支援

当社グループは、LGBTの社員もいきいきと働くことができる環境の整備や、商品・サービスを通じた取組みを行っています。社員向けの研修会後にALLY（LGBT理解者）になることを表明した社員にステッカーを配付し、ALLYの見える化を図ることで、当事者の安心感につなげるとともに職場の理解を促進しています。このような取組みにより、損保ジャパン日本興亜は、任意団体Work with PrideからLGBTに関する取組みの評価指標で「シルバー」認定を取得しました。

work with Pride



We are LGBT friendly



※LGBT：[L] レズビアン（女性同性愛者）、[G] ゲイ（男性同性愛者）、[B] バイセクシュアル（両性愛者）、[T] トランスジェンダー（性同一性障害など）の頭文字をとった単語

for Growthへ向けて



重点課題 5

人材育成活躍推進

「SOMPO Global University」の開校



当社グループは、世界有数のビジネススクールであるシンガポール国立大学での「経営知識の習得」と、知識を実践知とするための「海外での実務経験」の2本柱で構成される企業内大学「SOMPO Global University」を2012年に設立しました。国籍を問わず、知識と経験、そして幅広い視野を持ったグローバル人材の育成を目指しています。2016年度までに、14か国から合計97人（グループ外の参加者を含む）が参加しました。



重点課題 5

社会福祉に資する活動支援

損保ジャパン日本興亜福祉財団は、障がいの有無にかかわらず、すべての人が地域の中でともに支えあいながら暮らすことのできる社会づくりを目指しています。主として障がい者の福祉活動を行う団体に、自動車を購入する際の資金助成を行っています。また、社会福祉分野で活躍するASEAN加盟国とインドの非営利団体を支援する事業など海外への支援も行っています。



自動車
購入費助成
総額
18,060万円
(2016年末)

海外助成
総額
2,348万円
(2016年末)

いっしょに、地域、



重点課題 4

SOMPOホールディングス ボランティアデー

2011年度から当社グループ社員がボランティア活動に取り組む「SOMPOホールディングス ボランティアデー」を毎年開催しています。地域の清掃やフェアトレード商品の販売会の開催など、さまざまなボランティア活動を地域の皆さまなどといっしょに実施しています。



人を想う、心を育てる

Topics

継続的な復興支援の取組み

当社グループは、被災地の1日も早い復興を願い、継続的な復興支援に取り組んでいます。

東日本大震災復興支援

復興支援マルシェ開催～みんなで応援！がんばっぺ福島！

当社グループは、「みんなで応援！がんばっぺ福島！」をテーマに掲げ、2017年3月に風評被害の影響が残る福島県の物産品を対象に、全国各地でグループ社員向けの「復興支援マルシェ」を開催しました。



人形劇スマイルキャラバン 笑顔届け隊！

NPO法人愛知人形劇センターとともに「損保ジャパン日本興亜笑顔届け隊！」を結成し、2012年3月から、岩手県釜石市で、仮設住宅に居住されている方々に人形劇などを公演してきました。子ども達の笑顔が広がることを願って、2017年3月までに10回開催しました。公演後には、社員ボランティア作成の手作りプレゼントやメッセージカードを渡し、現地を訪れることができない社員の想いも届けてきました。

熊本地震復興支援

当社グループの役職員から義援金を募り、(福)中央共同募金会等を通じて、総額約1,200万円を寄付しました。また、くまモンの「オリジナルチャリティーTシャツおよび大判ハンカチ」を社員向けに合計で約8,000枚販売しました。売上による寄付金額(約460万円)は、熊本城・阿蘇神社等被災文化財復興支援募金に寄付しました。



いっしょに、デジタルで



重点課題 4

進化するデジタルテクノロジーを見極め、お客さまに新たな価値を 「SOMPO Digital Lab」の設置

当社は、テクノロジーの変化をまっ先にとらえるため、世界の先端テクノロジーが集う「シリコンバレー」と「東京」の2拠点に「SOMPO Digital Lab」を設置しています。



SOMPO Digital Lab

Tokyo



当社グループのイノベーション促進のコントロールタワーとしての役割を担い、当社グループの各事業における研究開発を支援しています。

Silicon Valley



米国シリコンバレーにおいて最新のデジタルテクノロジーに関する情報収集や現地の有力企業などとのネットワークの構築を進めています。

連携



見出す、新たな可能性を



重点課題 1

お客さまのご期待を上回るサービスの提供 いち早い解決を導く、ドローンを用いた最新技術

損保ジャパン日本興亜は、大規模自然災害発生時などに保険金の迅速なお支払いにつなげるため、保険業界で初めて、国土交通省から日本全国でのドローンの飛行に関する包括許可を取得しました。2016年に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災や2017年に発生した九州北部豪雨時に、被災された皆さまの早期の生活再建を願い、ドローンを活用した損害調査を実施しました。



保険業界
初



重点課題 1

お客さまをお待たせしないために コールセンターなどにおけるAIの活用

損保ジャパン日本興亜では、コールセンターへのお客さまからのお問い合わせに対し、AI（人工知能）や音声認識技術などの新技術を活用しています。導入前と比較して、電話の保留時間が1割削減されるなど、お客さまへの迅速な回答につなげています。また、営業部門からの問い合わせ時にも活用しており、「お客さまへの対応品質の向上」と「業務の効率化」を同時に実現しています。

保留時間
10%
削減

“もしも”のために、



重点課題 1

事故時の不安を取り除く

『ALSOK 事故現場安心サポート』の提供



セゾン自動車火災の『おとなの自動車保険』をご契約のお客さまが事故に遭われた場合、全国約2,400か所の拠点からALSOK 隊員が現場にかけつけ、事故状況などを確認し、保険会社へ連絡することで、迅速かつスムーズな事故対応のサポートを実現します。

※ALSOK 隊員がモバイル端末を活用して事故情報を連携するサービスにおいて

通販型
自動車保険
業界初*



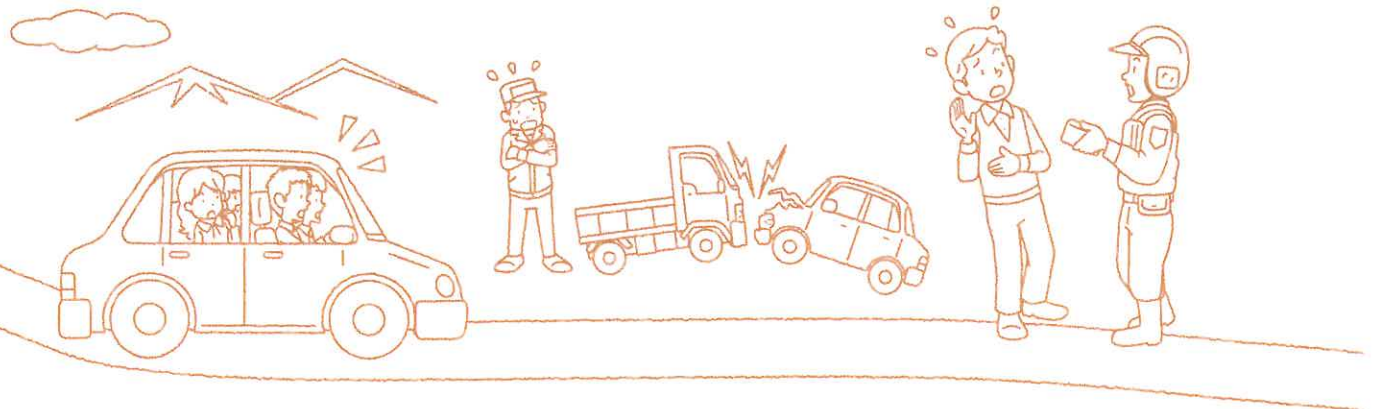
紹介動画は
こちら！

押すとながなる、「つながるボタン」

紹介動画は
こちら！



万が一の事故の際、「つながるボタン」を押すと、「つながるアプリ」が起動して、すぐに事故受付担当者に相談できたり、事故現場にALSOK 隊員のかけつけを要請することができます。また、「つながるアプリ」から、お客さまのご契約情報や事故現場の位置情報が連携されるため、必要なサポートをスムーズに受けることができます。



重点課題 1

より早い保険金のお支払いと修繕工事を実現

ウェアラブル端末(スマートグラス)を活用した損害調査

損保ジャパン日本興亜では、火災保険の対象となる事故で、お客さまから修理業者の紹介依頼があった場合などに、グループ会社であるフレッシュハウスをご紹介しています。フレッシュハウスでは現地で損害の確認を行う際に、ウェアラブル端末を活用し、専任オペレーターが遠隔サポートを行うことで、見積書作成のスピードと正確性を向上させています。

これにより、修繕工事および保険金のお支払いにかかる期間の短縮につなげています。

“いつも”いっしょに



重点課題 1

あなたのカーライフを変えるカーナビアプリ ポータブルスマイリングロード

『ポータブルスマイリングロード (PSR)』は、「万一の事故時にワンタッチで代理店や保険会社に連絡する『安心』の機能」、「運転診断やリアルタイム情報提供など事故防止に役立つ『安全』な機能」などを、「『快適』なカーナビゲーション機能」とともに提供する個人向けテレマティクスサービスです。保険会社ならではの「事故多発地点アラート」や、事故多発地点を回避する「安全ルート案内」などの保険業界初の機能を搭載し、「快適」なドライブを実現します。また、企業向けの「スマイリングロード」では、事故件数が20%減少しました。

業界初の
機能搭載



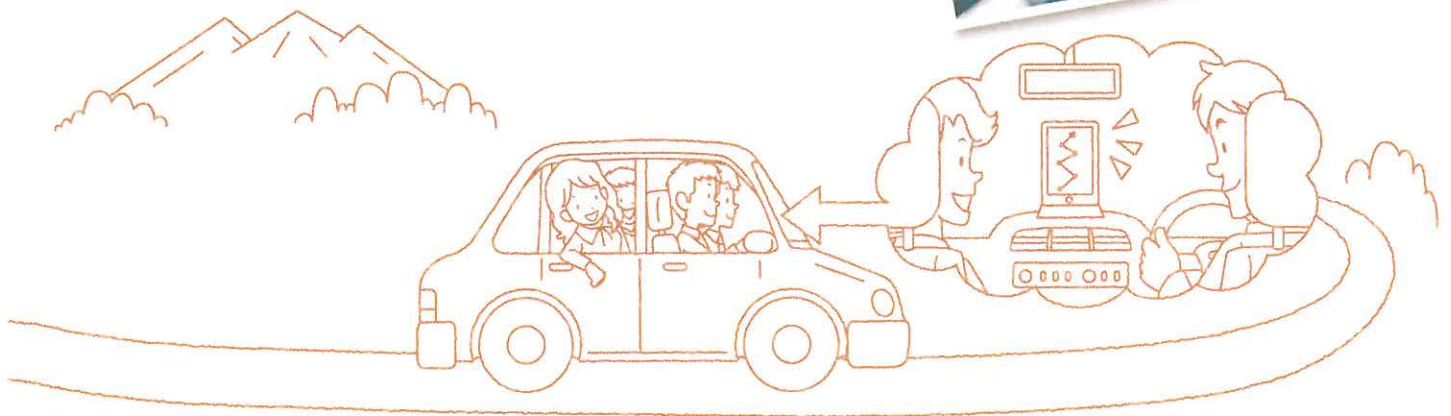
紹介動画は
こちら！



損保ジャパン日本興亜
森 慶一郎

Q：PSR開発のきっかけは？

ご契約後のお客さまと私たちとの接点は、万が一の事故の際に限られます。お客さまとの接点を増やして、身近なところから「安心・安全・健康」をお届けしたいという想いと事故を一つでもなくしたいという想いから開発に至りました。



現場調査

映像共有

指示



オペレーター

あなたの「健康」を



重点課題 2

わたしの健康を支える情報アプリ

Linkx siru
リンククロス

アプリのダウンロードはこちら！



ios 版



Android 版

Q：どのようなアプリなの？

皆さまの日々の健康活動に対する意識を高め、心地よく、楽しく、「わたらしい健康」を維持していただくために開発したアプリです。利用状況に応じて最適な記事が配信されるようになっており一人ひとりに合った、運動・食事・生活習慣などに関する情報をお届けしています。

Q：皆さまへのメッセージ

今後もさらに多くの方に愛用してもらえよう魅力的なアプリに日々成長させていきますので、ぜひご活用ください。



損保ジャパン日本興亜
ひまわり生命保険
渡部 大介



重点課題 2

ふたりだから続けられる ダイエットアプリ

Linkx reco
リンククロス

Q：どのようなアプリなの？

ウォーキングや食事内容を記録 (recording) し、毎日簡単なタスクを実行することで、健康的な生活習慣への行動変容を促すアプリです。人間の生態リズムの視点で食事の時間を考える「時間栄養学」の観点から、皆さまに最適な食事タイミングのアドバイスも提供します。また、ペアリング機能を備えているため、パートナーや友人など二人で一緒に続けることができます。



損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険
治郎丸 絢子、増岡 由実

支える、いっしょに



アプリのダウンロードは
こちら！



重点課題 2

いつもの道が楽しく なるお散歩アプリ

Linkx aruku

リンククロス



ios 版



Android 版

Q：どのようなアプリなの？

「毎日」「無理なく」「楽しく」「歩く」ことを目的としたお散歩アプリです。散歩中の発見を写真やコメントで共有したり、全国700コース以上のおすすめ散歩コースから選んで歩くことができます。(2017年7月末時点)

Q：開発の目的は？

「Linkx reco」では、毎日歩くことを推奨していますが、楽しみながら歩いてもらうサポートができないかと思い、開発しました。

Q：皆さまへのメッセージ

約300の散歩コースを社員が歩いて作成しました。このアプリは、皆さまの投稿によって成長します。ぜひ、いっしょにアプリを成長させてください。

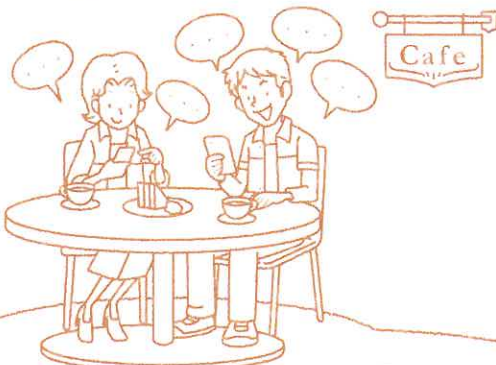


横濱ジャパン日本興亜
ひまわり生命保険
池田 真梨



Linkx arukuのイメージ図

今すぐダウンロード

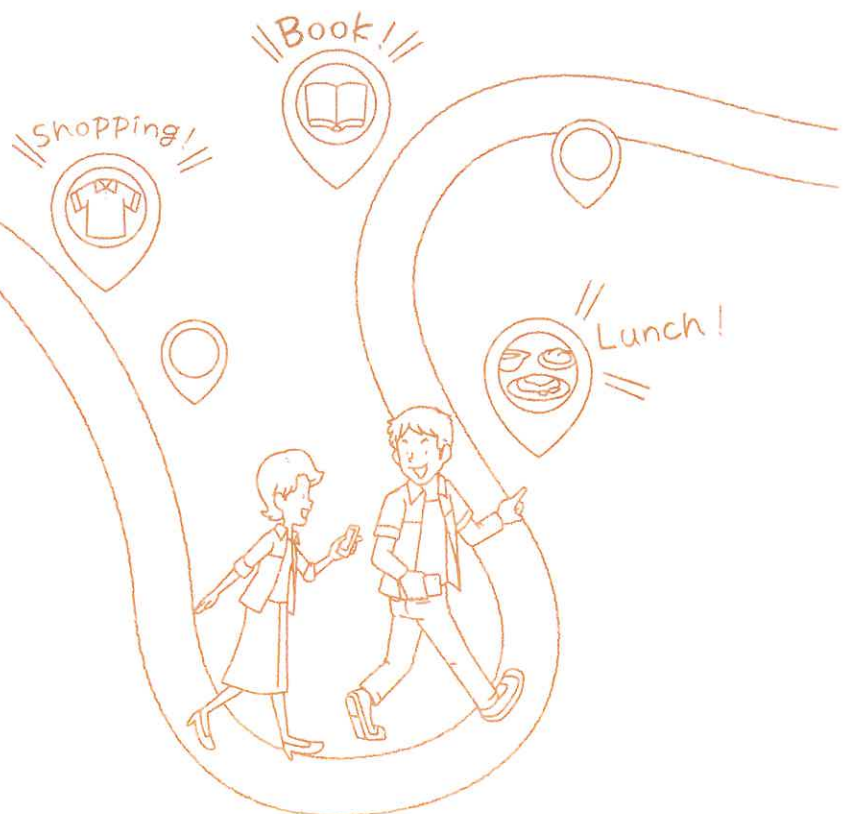


アプリのダウンロードはこちら！

ios 版



Android 版



世界に誇れる豊かな



重点課題 2

超高齢社会を支える 高品質の介護・ヘルスケア サービス

当社グループは、皆さまに「安心・安全・健康」をお届けするために保険にとどまらない幅広い事業を展開しています。2015年度には、「世界に誇れる豊かな長寿国日本」の実現を目指し、介護事業に本格参入しました。高齢化が急激に進展する日本において、高品質の介護サービスを提供しています。



重点課題 2

より質の高い介護を目指す企業内大学 「SOMPOケア ユニバーシティ」の開設

企業内大学「SOMPOケア ユニバーシティ」の1つである研修センターは、実際のホームと同様の居室・設備を再現した業界初の研修施設です。介護技術の向上を目指し、多くの従業員が活用してきました。将来的には、介護事業を支えるさまざまな方々との学びの場となり、現場の課題・対策の研究機能も有する、総合研究開発センターとなることを目指しています。

業界初



研修の様子

長寿国を、いっしょに



重点課題 2

認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者

認知症サポーター「キャラバン・メイト養成研修」

当社グループは、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターを社内で効果的に育成する「キャラバン・メイト養成研修」を開講しています。



研修を受けたキャラバン・メイトが、各職場において「認知症サポーター」の育成を行うことで、ご高齢の方、認知症の方へ配慮した対応ができるグループとなれるよう取り組んでいます。



認知症サポーターの証
「オレンジリング」



重点課題 2

「寄り添う」姿勢を進化させる人材育成

「バーチャルリアリティ (VR)」の導入

SOMPOケアグループでは、人材育成の一環として、認知症の中核症状などを体験できる「バーチャルリアリティ (VR)」を導入しています。

例えば、高齢の方のケアには、「知識」と自分自身が高齢になった時の「経験」が適切なケアにつながりますが、認知症は自分自身が体験できないため、「知識」に頼ったケアになりがちでした。

VRを通じて、認知症の方が置かれた立場や不安、とまどいを体感し、「知識」をより適切なケアに活かすことが可能になります。



認知症の原因となる疾患の一つ「レビー小体病」を患う方が監修した「幻視 (そこにはないものがはっきり見える症状)」を体験できる映像

文化・芸術を通じた 「真の感動」と「心の豊かさ」を、 人へ、社会へ、いっしょに

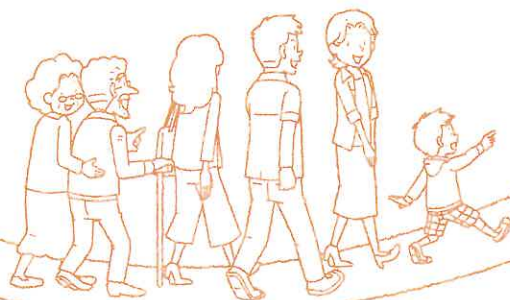
お客さまの「安心・安全・健康」な暮らしをひとつなぎで支える企業グループとして、文化・芸術の振興を通じ、さまざまな立場の人々がいきいきと、そして豊かな生活を送れる社会の実現に貢献していきます。

アジアで唯一ゴッホの《ひまわり》が咲いている 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館

損保ジャパン日本興亜は、1976年に新宿本社ビル42階に開設し、アジアで唯一ゴッホの《ひまわり》を見ることが出来る美術館として親しまれています。その他にもゴーギャン、セザンヌ、東郷青児、グランマ・モーゼスの作品などを常設展示しているほか、各種展覧会の開催や新進作家の支援などを行っています。また、すべての展覧会で中学生以下の入館を無料にするとともに、新宿区と連携し、区立の小中学生を対象に休館日を利用した「対話による美術鑑賞教育」支援を実施するなど次世代育成にも力を入れています。



展覧会のご案内はこちら！



全国の文化・芸術活動を支援する 「SOMPO アート・ファンド」



三陸国際芸術祭 2016
「女川港大漁獅子舞まわし」

損保ジャパン日本興亜は、2016年度に全国のアートプログラムを支援する「SOMPO アート・ファンド」を設立し、各地の個性豊かなアートプロジェクトや国際的なアートフェスティバルなどへの助成を通じて、地域活性化への貢献などを目指しています。

※本ファンドは、[公社]企業メセナ協議会が運営する「2021 芸術・文化による社会創造ファンド（略称：2021 Arts Fund）」の仕組みを活用したものです。

損保ジャパン日本興亜人形劇場 「ひまわりホール」

損保ジャパン日本興亜は、NPO法人愛知人形劇センターと共同で、1989年に開設した名古屋ビルの人形劇場「ひまわりホール」を運営しています。人形劇の上演、セミナー・ワークショップ・子どもアートフェスティバルの開催、人形劇の明日を担う斬新な才能を発掘する「P新人賞」など、人形劇の盛んな地域で、全国的にも注目される多彩な活動を展開しています。



東京藝術大学×SOMPOホールディングス Diversity on the Arts Project (愛称:DOOR)

当社は、2017年から東京藝術大学が開講した「アート×福祉」を体系的かつユニークな講義と、街中の拠点など社会での実践を通して学ぶ履修証明プログラム(DOOR)を支援しています。人材育成を通じた、多様性ある共生社会づくりへの貢献を目指しています。



©Kazuo Kawase



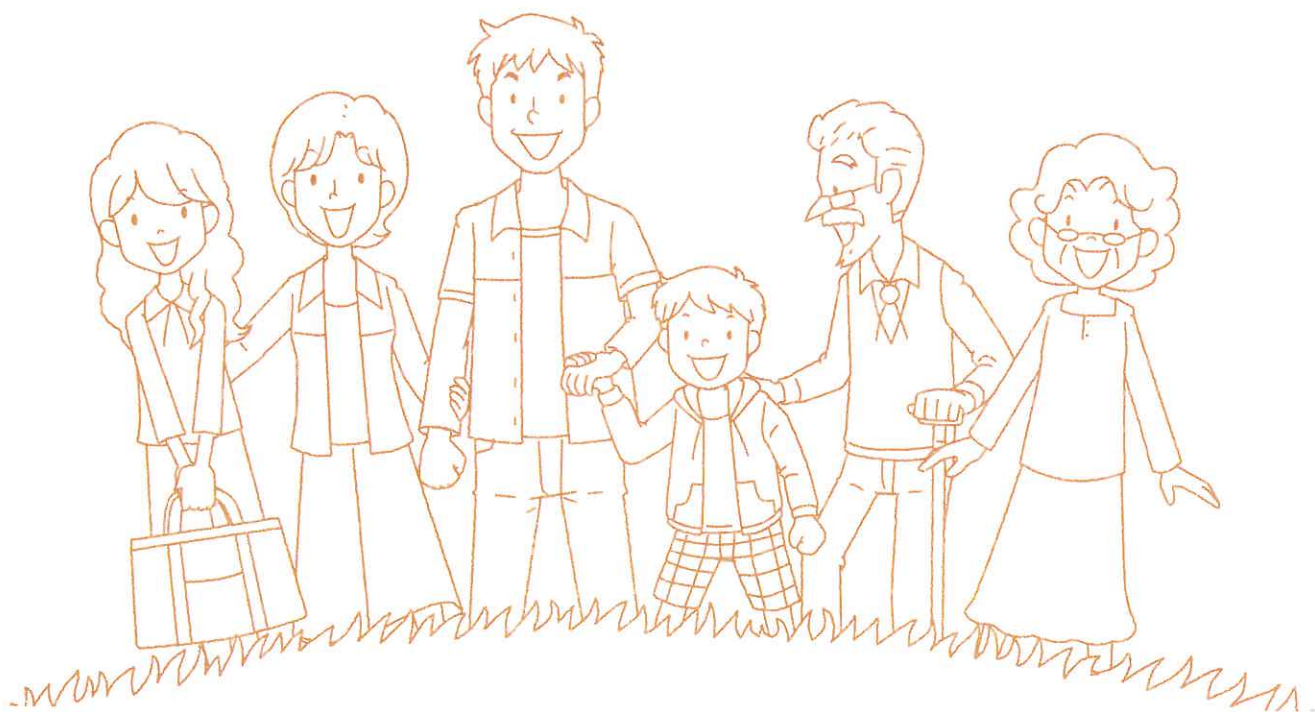
**Diversity on the
Arts Project**

紹介動画は
こちら！



いっしょなら、 もっといい未来

A Better Future Together



社外からの主な評価

Dow Jones Sustainability Indices (DJSI World)

企業の持続可能性を「経済」「環境」「社会」の3つの側面から評価し、先進的な取組みをしている企業をDJSI構成銘柄として抽出した、世界の代表的なSRIインデックスです。当社の発足から8年連続、損保ジャパン日本興亜(旧:損保ジャパン)からの通算で18年連続の組入れとなり、日本企業として最長の連続選定となります。(2017年9月)



RobecoSAM社 企業の持続可能性調査 (RobecoSAM's Corporate Sustainability Assessment)

DJSIの調査対象企業から選定したもので、2017年は「銅賞(RobecoSAM Bronze Class)」を受賞しました。当社の発足から7年連続、損保ジャパン日本興亜(旧:損保ジャパン)からの通算では10年連続で受賞しています。(2017年1月)



CDP(気候変動)アンケート

当社は、世界の機関投資家が企業に気候変動への戦略や温室効果ガス排出量の公表を要請するプロジェクト「CDP」の気候変動に関するアンケートでAリストに選定され、国内外の金融機関で最高ランクを獲得しました。(2016年10月)



「女性が輝く先進企業表彰」で「内閣総理大臣表彰」受賞

損保ジャパン日本興亜は、女性管理職比率の拡大、全社員の働き方改革「ワークスタイルイノベーション」への取組み、地域連携による女性活躍推進の3点が評価され、2016年度「女性が輝く先進企業表彰」において「内閣総理大臣表彰」を受賞しました。(2016年12月)



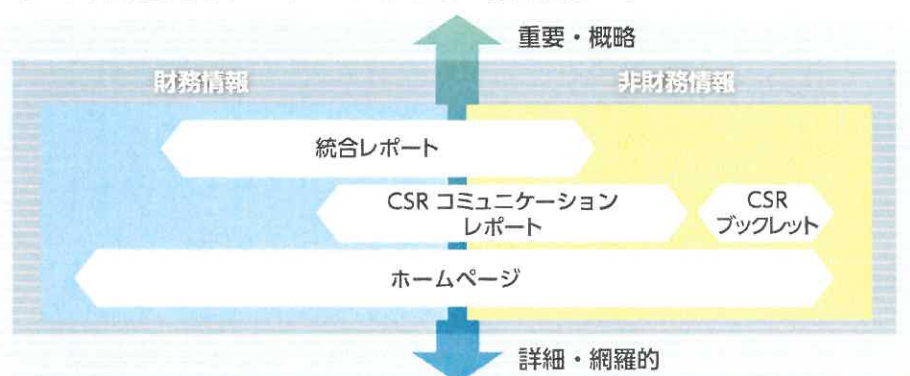
第20回環境コミュニケーション大賞 「地球温暖化対策報告大賞(環境大臣賞)」を受賞

ESGに関する詳細な情報開示「CSRコミュニケーションレポート2016」が、第20回環境コミュニケーション大賞(主催:環境省、地球・人間環境フォーラム)の環境報告書部門で、「地球温暖化対策報告大賞(環境大臣賞)」を受賞しました。(2017年2月)



編集方針

「CSRブックレット」は、当社グループのCSRの取組みの一部を簡潔に紹介するブックレットです。取組みの詳細は、総合レポート、CSRコミュニケーションレポート、当社公式ホームページなどをご覧ください。



※ 本誌掲載のQRコード、URL、サービスは、予告なく変更となる場合があります。

※ 本誌掲載の写真、図版などの無断転載・複製を禁じます。 © 2017 Asahi Shimbun Publications, Inc.



SOMPOホールディングスは、SDGsを支援しています

SOMPOホールディングス株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL.03-3349-3000

URL <http://www.sompo-hd.com/>



17.10(17090140) 501251-0400